

令和元年青森県花き生産状況

農産園芸課

1 概況

令和元年の本県花きの生産状況は、作付面積が93ヘクタール（前年比91%）で、前年に比べ8.7ヘクタールの減少、出荷数量が1,721万本・万鉢（同84%）で、前年に比べ約328万本・万鉢の減少、出荷額が13億600万円（同78%）で、前年に比べ約3億6,800万円の減少となった。また、栽培農家数は696戸（同89%）と、前年に比べ84戸減少した。

これらの要因として、高齢化や労働力不足のほか、販売単価の低下、野菜等への作付転換等が考えられる。

表1 生産状況

（単位：ha、万本・万鉢、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	出荷数量	出荷額	栽培戸数
令和元年	93	1,721	1,306	696
平成30年	101	2,049	1,674	780
令和元年/平成30年	91	84	78	89

【農産園芸課調べ】

（注）数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の比と表の値が一致しない場合がある。

2 作付面積

（1）切花類

切花類の作付面積は約66ヘクタール（前年比90%）で、前年より約8ヘクタール減少した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク）が約18ヘクタールと最も多く、花き全体の19パーセントを占めた。次いで、サクラ（枝物）が約9ヘクタール、トルコギキョウ約8ヘクタール、ヒマワリ約4ヘクタール、バラ約2ヘクタールの順となった。

キク類、トルコギキョウ、ヒマワリは概ね前年並であったが、サクラ、バラ等が減少した。

（2）鉢もの類

鉢もの類の作付面積は約9ヘクタール（前年比95%）で、前年より約0.4ヘクタール減少した。

品目別では、シクラメンが約2ヘクタールで最も多く、次いでポットローズが1ヘクタール、サクラソウが0.8ヘクタールとなった。

（3）苗もの類

苗もの類の作付面積は4ヘクタール（前年比106%）で、前年より約0.2ヘクタール増加した。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区別	年次	令和元年		平成30年		元/30
		面積	割合	面積	割合	
切花類		6,608	71	7,362	73	90
主要品目	キク類	1,787	19	1,774	17	101
	サクラ(枝物)	880	9	933	9	94
	トルコギキョウ	815	9	806	8	101
	ヒマワリ	369	4	362	4	102
	バラ	189	2	204	2	93
	アルストロメリア	181	2	184	2	98
	カンパニュラ	117	1	128	1	91
	ストック	106	1	120	1	88
	カーネーション	102	1	109	1	94
	宿根カスミソウ	101	1	101	1	100
	アスター	101	1	90	1	112
	リンドウ	93	1	129	1	72
	デルフィニウム	83	1	81	1	102
	ユリ類	54	1	69	1	78
	グラジオラス	41	0	47	0	87
	その他	1,589	17	2,225	22	71
	鉢もの類		889	10	932	9
主要品目	シクラメン	210	2	193	2	109
	ポットローズ	101	1	80	1	126
	サクラソウ	76	1	87	1	87
苗もの類		400	4	376	4	106
花木類		162	2	202	2	80
芝類		406	4	400	4	102
球根類		810	9	870	9	93
合計		9,274	100	10,141	100	91

【農産園芸課調べ】

：青森県花き振興方策の重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 出荷額

(1) 切花類

切花類の出荷額は7億7,000万円(前年比80%)で、前年より1億8,600万円減少した。

品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が2億5,000万円(同86%)と最も多く、全体の19パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが1億5,500万円(同89%)、アルストロメリアが1億1,300万円(同93%)、バラが5,300万円(同66%)、カンパニュラが2,500万円(同96%)、アスターが2,500万円(同179%)、ヒマワリが1,500万円(同100%)の順となった。

(2) 鉢もの類

鉢もの類の出荷額は3億4,000万円(前年比71%)で、前年より1億3,900万円減少した。

主な品目では、ポットローズが9,000万円と最も多く、シクラメンが6,000万円、サクラソウが3,100万円となった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の出荷額は1億500万円（前年比111%）で、前年より1,000万円増加した。

表3 出荷額

(単位：百万円，%)

区別	年次		年次		元年/30	
	令和元年	割合	平成30年	割合		
切花類	766	59	952	57	80	
主要品目	キク類	250	19	292	17	86
	トルコギキョウ	155	12	175	10	89
	アルストロメリア	113	9	121	7	93
	バラ	53	4	80	5	66
	カンパニュラ	25	2	26	2	96
	アスター	25	2	14	1	179
	ヒマワリ	15	1	15	1	100
	宿根カスミソウ	14	1	14	1	100
	ストック	14	1	14	1	100
	デルフィニウム	7	1	8	0	88
	リンドウ	5	0	7	0	71
	カーネーション	6	0	7	0	86
	サクラ(枝物)	5	0	7	0	71
	ユリ類	3	0	6	0	50
	グラジオラス	2	0	2	0	100
その他	74	6	164	10	45	
鉢ものの類	340	26	479	29	71	
主要品目	ポットローズ	90	7	75	4	120
	シクラメン	60	5	64	4	94
	サクラソウ	31	2	29	2	107
苗ものの類	105	8	95	6	111	
花木類	47	4	75	4	63	
芝類	37	3	60	4	62	
球根類	10	1	13	1	77	
合計	1,306	100	1,674	100	78	

【農産園芸課調べ】

：青森県花き振興方策の重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

4 地域別の生産状況

(1) 作付面積

県全体の作付面積は、前年より9ポイント減少した。

地域別では、中南地域が約27ヘクタールで全体の29パーセントを占め、次いで東青地域が約23ヘクタール、西北地域が約20ヘクタール、三八地域が約18ヘクタール、上北地域が約4ヘクタール、下北地域が約0.6ヘクタールとなった。

(2) 出荷額

県全体の出荷額は、前年より22ポイント減少した。

地域別では、中南地域が4億3,100万円で最も多く、次いで三八地域が3億7,600万円、西北地域が2億3,500万円、上北地域が2億2,500万円となった。

なお、上北地域は、ポットローズ等の鉢ものの生産により作付面積は約4ヘクタールと少ないものの、単位面積当たりの出荷額は多くなっている。

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					出荷額			主な品目
	令和元年	割合	平成30年	割合	元/30	令和元年	平成30年	元/30	
東青	2,257	24	2,077	20	109	36	50	72	キク、トルコギキョウ、カーネーション、デルフィニウム、宿根スターチス
中南	2,717	29	2,762	27	98	431	513	84	アルストロメリア、トルコギキョウ、バラ、キク、サクラソウ
三八	1,766	19	2,440	24	72	376	505	74	キク、トルコギキョウ、カンパニュラ、アスター、シクラメン
西北	2,033	22	2,385	24	85	235	304	77	キク、トルコギキョウ、シクラメン、宿根カスミンウ、デルフィニウム
上北	446	5	410	4	109	225	299	75	ポットローズ、観葉植物、カランコエ、キク、バラ、ポインセチア、パンジー
下北	55	0.6	67	0.7	81	2.8	3.1	90	トルコギキョウ、キク、アスター、ベゴニア
合計	9,274	100	10,141	100	91	1,306	1,674	78	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

5 バケット出荷の状況

切花の鮮度保持のためのバケット出荷は、JA花き部会を中心に実施されている。

品目別では、トルコギキョウはバケットによる出荷量が70万5千本で約56パーセントで行われており、カンパニュラは27万1千本で約59パーセント、バラは20万9千本で約39%、宿根カスミソウは7万6千本で約85パーセント、キンギョソウは3万6千本で約42パーセント、デルフィニウムは5千本で約10パーセントなどとなった。

表5 切花類のバケット出荷状況 (単位：a、千本、%)

品 目	施設・露地栽培計			
	作付面積	出荷数量	バケット出荷量	バケット出荷率
トルコギキョウ	815	1,263	705	55.8
カンパニュラ	117	456	271	59.4
バ ラ	189	538	209	38.8
宿根カスミソウ	101	89	76	84.6
キンギョソウ	30	86	36	42.3
デルフィニウム	83	46	5	10.4
カーネーション	102	140	0	0.0
その他	477	502	101	20.0
合 計	1,914	3,120	1,402	44.9

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

6 JAの花き生産の状況（JA全農あおもり取扱状況）

(1) 花き取扱状況

JA全農あおもりの令和元年花き取扱量（県内JAの全取扱数量）は、約704万本（前年比99%）と前年より約10万7,000本減少した。

また、販売額は5億6,600万円（同92%）と前年より4,600万円減少した。

(2) 販売額割合

県出荷額に対するJA全農あおもりの販売額のシェアは43パーセントと前年より6パーセント増加した。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

(単位：千本、百万円、円、%)

項目 年次	農協数	数量	販売額	単価	県出荷額	シェア
令和元年	8	7,039	566	80	1,306	43
平成30年	9	7,146	612	86	1,674	37
元年/30年	89	99	92	94	78	118

【JA全農あおもり調べ】

(注) シェア：(JA全農あおもり販売額÷県出荷額)×100